

平成 29 年度 第 1 回香南市産業振興計画推進分野別部会 報告

- 1 農業部会 1 ページ
- 2 林業部会 2 ページ
- 3 水産業部会 3 ページ
- 4 商業部会 4 ページ
- 5 工業部会 5 ページ
- 6 観光部会 6 ページ

・平成 29 年度 第 1 回香南市産業振興計画推進農業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎竹内 淳	J A 土佐香美園芸部
2	○長崎 篤史	香南市認定農業者連絡協議会
3	石丸 典男	J A 土佐香美果樹部
4	真島 琴子 (代理)	J A 土佐香美営農経営指導課
5	北岡 勝	高知県農業共済組合香美支所
6	吉本 良太	高知県中央東農業振興センター 農業改良普及課
7	山本 茂夫	香南市農業公社

2. 事務局

	氏名	所属
1	中屋 幸夫	農林課
2	伊野 広高	農林課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	取組状況及び課題と今後の対応
第 1 回 (4/24)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度農業分野の取組実績について 平成 29 年度農業部会の取組、実践型ハウス事業について 	別紙当日配布資料参照

委員意見 (抜粋)

- ① 農業基盤整備、担い手関係
 - ・青年就農給付金事業について要件が厳しいと聞か？またその要件を緩和していけないか？
 回答→親等や品目等要件は厳しい。該当者はなかなかいない。そのため、農業後継者推進事業がつけられている部分もある。H29 年度からは名称が変わり、青年就農給付金事業から農業次世代人材投資事業となった。
- ② 実践型ハウス事業
 - ・建設候補地について野市、中ノ村の 2 案が記載されているが、本会で決定するのか？
 回答→まだ地権者に用地買収の話をしていないので、本会です了承が得られれば詳細に話をする。まず、深淵が第一候補で、駄目だったら中ノ村というように考えている。(→委員了承)
- ③ 農産物による地域活性化
 - ・去年開催されて好評だった山北みかんマルシェイベント、今年も香南市で事業協力してもらって開催予定だが、香南市でやるのだから、市内団体のブースを多く構えたい。香南市がメインにならないと。補助金等様々な面での協力をよろしく願いたい。
 - ・ニラについては、例えば JA ニラ部会は香美・香南とまたがって組織されている。ニラを売り出す場合、香美市も巻き込んでいかなければならない。南部の香南市だけでというのは難しい。香美市とも連携を密にしてニラの売り出しに取り組んでもらいたい。

・平成 29 年度 第 1 回香南市産業振興計画推進林業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

2. 事務局

氏名	所属	氏名	所属
1 ○白石 祐治	中央東林業事務所 振興課	1 平井 彰洋	農林課
2 ◎野島 常稔	香美森林組合	2 徳久 歩未	農林課
3 清藤 好弘	香美森林組合 (旧夜須町)		
4 別役 瑞久	香美森林組合 (旧香我美町)		
5 恒石 健一	林道愛護員 (旧夜須町)		
6 小松 光廣	林道愛護員 (旧香我美町)		
7 久保 肇	林業者		
8 東谷 興正	高知県計画推進課 地域支援企画員		

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第 1 回 (5/16)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度林業分野の取組実績について 平成 29 年度林業分野の取組及び香南市産業振興計画【林業分野】について 	<ul style="list-style-type: none"> ① 国の補助事業実施推進について ② 山林の相続問題について ③ 開設林道の登記について ④ 森林環境税について ⑤ 高知県立林業学校について ⑥ 境界明確化事業について ⑦ その他

委員意見 (抜粋)

- ① 国の補助事業実施推進について
 - ・現在造林・間伐等を行った後そのままになっているところが多く、補助金を利用し間伐、再造林、有害鳥獣への対策(防護ネット等)を計画的に進めて欲しい。造林事業(国庫補助)と森林資源再生支援事業を合わせ、最大で国より事業費の 90%の補助が出る。香南市では残りの 10%を負担。個人負担無し(保険料等一部の負担は除く)。
 - ・旧森林開発公団(森林整備センター)が奥地水源地域の民有保安林等に対し、個人負担無しで造林事業を行っている(間伐時は個人負担 4 割)が、香南市では取り組まれていない。
- ② 山林の相続問題について
 - ・土地の所有者が亡くなっており、相続関係者と協議を行おうとしても個人情報保護法の関係で個人では連絡の取り方が無い。相続法の簡素化は出来ないものか。
- ③ 開設林道の登記について
 - ・林道畑山奥西川線において分筆登記が行われていない箇所については、地籍調査もしくは境界明確化事業を行うことで今後対応していく。(夜須町の林道についても同様)
- ④ 森林環境税について
 - ・国からの予算が減少傾向にあるが、山林の保全のためには間伐・新植が必要。事業費を賄うため森林環境税を導入している。
- ⑤ 高知県立林業学校について
 - ・平成 29 年より基礎コース終了後にさらに専門的な知識の充実を図るため専攻課程(3 コース)を増設。
 - ・林業者の離職率が近年問題になっていたが、林業学校が導入されたことで林業の基礎的な業務があらかじめ身につく、離職率の改善につながっている。
- ⑥ 境界明確化事業について
 - ・年々地権者の確認が取れなくなっている。地権者がわかっている内に出来るだけ早く事業を行って欲しい。
- ⑦ その他
 - ・竹の浸食による造成林への被害が広がっている。竹は加工も難しく燃やすと炉を傷めるため対応が難しい。

・平成29年度 第1回香南市産業振興計画推進水産業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎山下 太造	高知県漁協 赤岡統括支所長
2	○仙頭 美香	高知県漁協 手結支所長
3	本田 和仁	赤岡バッチ船主会会長
4	北村 政志	吉川バッチ船主会代表者
5	浜口 信義	手結地区漁業者
6	中山 勝道	住吉地区漁業者
7	野村 操	ジャコ加工業者
8	宮澤 英将 (所長代理)	中央漁業指導所
9	齋藤 弓子	高知県計画推進課

2. 事務局

	氏名	所属
1	尾崎 新一	商工水産課
2	澤田 卓	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第1回 (5/18)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度 水産業分野の取組実績 平成29年度 水産業分野の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○シラス漁における所得の向上 (協議の場の設定) ○関係機関との協議継続 ○衛生管理向上 (荷捌所等)
委員意見 (抜粋)		
<p>漁業者の所得向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲高が前年度の63.8%であるが、沖止めが発生している。加工者・漁業者(漁協含む)・行政が課題解決のための場作りが重要である。 <p>衛生管理向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港荷捌所等の衛生管理向上に努める必要がある。(鳩のフン対策) <p>資機材の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な魚の維持 (真空パック・運搬車) 		

・平成 29 年度 第 1 回香南市産業振興計画推進商業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎福井 律	お菓子と雑貨おひさん
2	○西村 幸祐	香南市商工会
3	濱口 涼子	香南市商工会
4	橋本 香織	香南市観光協会
5	田中 たい子	スタジオハンズ・たいびんび
6	近藤 洋好	旅館 かとり
7	安藤 潮	高知県計画推進課（地域支援企画員）

2. 事務局

	氏名	所属
1	西岡 亜希子	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第 1 回 (5/17)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度の実績について ・平成 29 年度の実績について (意見交換) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックは、まずデータ作成を検討する ・情報面のインフラ整備（ホームページ等での情報発信・情報更新） ・移住してきた人への創業支援策の情報提供 ・香南バルの実施 ・他の部会との交流
委員意見（抜粋）		
<ul style="list-style-type: none"> ・今の商店街は厳しい状況に置かれている。空き店舗の対策を今後も進めていくのか、違う切り口で考えるのか。商店街の機能を維持していくためには大胆な発想も必要ではないか。 ・いろいろなツールを使って情報発信して外向きにPRすることで人を呼ぶことが、内向きの支援にもつながるのではないか。 ・赤岡の商店街全体で Wi-Fi を使えるようにしてフェイスブック等にアップしやすい環境になったら、観光客やお遍路さんに情報発信してもらえるのではないか。 ・事業者向けに、Wi-Fi や翻訳アプリ等の信用できる情報を提供したらいいのでは。 ・今はホームページが名刺代わり。無料ツールもあるのでやらないともったいない。情報面のインフラを整備したいのでお手伝いをしているが、全事業所に対応するのは難しい。 ・I ターン、U ターンで移住してくる人は、定年退職した人が多いと思っていたが、実際は7割が若者と聞いて驚いた。香南市に魅力を感じて来てくれているので、そういう人に創業支援策の情報提供を。 ・農業も観光も商業もつながっている。連携して、総合的に何がいいのかを検討する必要がある。 ・作るプロと売るプロが一緒になって、香南市全体を売っていくようにしたい。 ・香南バルについては、今のところ進展なしだが、実施に向けて検討を続ける。イベントを実施することで飲食店にお客さんが来るきっかけになってくれれば。 ・ガイドブックは、まずはデータで作成してホームページで閲覧できるようにしたら、スマホで見ることができる。 ・部会の全体会があればいいのでは。 		

・平成 29 年度 第 1 回香南市産業振興計画推進工業部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	野島 和男	(株) 暁産業
2	◎ 黒原 正仁	山本貴金属地金(株)
3	金城 圭一	高知職業能力開発短期大学校
4	小松 裕明	高知県産業振興センター
5	○ 澤田 保男	香南市商工会
6	石丸 法正	香南市商工会

2. 事務局

	氏名	所属
1	萩野 大輔	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第1回 (5/19)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度の取組実績について 平成 29 年度香南市産業振興計画について (意見交換) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取組に対する具体的な数値化 香南工業団地の残り 1 区画の早期完売 支援事業の広報の仕方（アプローチ方法） 企業 IT 関連強化に係る補助金の検討 工業部会委員による市内企業訪問の実施

委員意見（抜粋）

- 懇談会の開催（年 1 回）を目標値と定めるのではなく、多くの企業に参加していただくために内容を充実させることが重要。昨年比で参加者数の増加を目標値とすればよい。
- 香南工業団地の残り 1 区画（A 区画）は現在商談中。6 月末をめどに返事をいただくようになっている。
- 人材育成事業は業種ごとに研修メニューを絞って企業に提示してあげれば活用が進むのではないかな。
- 未来人材奨学金支援事業は企業への案内だけでなく、学校にも PR すべき。
- 現在は IT 関係が進んで来ており、自社のホームページは必要。ポリテクカレッジ等の授業の中で会社のホームページを作成する等、検討いただけたらと思う。また、費用もかかることから補助金化も併せて検討
- 企業訪問を通じて各企業の業務内容を知ることができ、それが企業連携にも繋がる。工業部会が企業間のパイプ役となればよいと思う。

・平成 29 年度 第 1 回香南市産業振興計画推進観光部会報告書

1. 部会委員 ◎部会長 ○副部会長

	氏名	所属
1	◎岡林 順子	創造広場アクトランド
2	○森尾 美紀	香南市観光協会
3	吉村 和久	高知県立のいち動物公園
4	長山 哲雄	高知工科大学
5	松下 友弥	香南市商工会
6	塩井 政利	香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会
7	齋藤 弓子	高知県計画推進課
8	近藤 誠	香南市地域支援課

2. 事務局

	氏名	所属
1	谷口 奈菜子	商工水産課
2	猪原 加江	商工水産課

3. 部会実施結果

回数	主要課題	検討取組等
第 1 回 (5/17)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度の観光分野取組実績について ・平成 29 年度の観光分野取組について (意見交換) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光素材やターゲット、テーマをしぼった観光 PR ・SNS 上にアップする観光動画づくり ・外国人個人観光客向けの情報発信 ・観光客の視点・需要を把握する取組の検討
委員意見 (抜粋)		
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客に PR するため、外国人利用者が多い Google Earth に委託して、映像を撮影してはどうか ・物部川のテーマやコンセプト、将来像を描かなければ未来に繋がないのではないか。 ・外国人観光客が何を求めているか知るためのアンケートを実施してはどうか。 ・オリンピックを見据え、観光客船だけでなく、個人も含めた外国人観光客全体への情報発信が大事になる。 ・大口観光客向けではなく、個人向けに観光素材やターゲットをしぼって PR したほうが、満足度の高い観光を提供できるのではないか。 ・一見の外国人観光客を受け入れるのか、リピーターとなりうる (外国人お遍路さんのような目的をもって観光をしている方) を大切にしていけるのか、考えなくてはいけない。 ・1~2 分程度の目的コースごとに細分化された観光動画をアップすれば効果的と思われる。 ・観光客向けに、「見る」「知る」「体験する」などの観光コースをつくることで、いい観光客を誘致することにつながるのではないか。 ・五右衛門風呂やお遍路など、自分だけのスピリチュアルな体験が求められている。 ・自分たちの身近にある、なんでもない風景こそ観光客が求めているものだ。 ・各施設で、バス利用の観光客向けに最寄のバス停を HP 上に明記してもらいたい。 		